

騎士道精神と 緻密な頭脳戦

フェンシング の魅力

川俣町フェンシングの 歴史と現在地

川俣町を代表するスポーツのひとつである「フェンシング」。この「フェンシング」が川俣町に根付いたきっかけは平成7年に開催された『ふくしま国体（第50回国民体育大会）』です。

昭和63年に『ふくしま国体』フェンシング競技が川俣町で開催されることが決定されてから、翌年の平成元年には川俣町フェンシングスポーツ少年団が結成、平成2年には川俣高校フェンシング部が誕生と着々とフェンシングが盛んになっていきました。

それから約30年、今年は第53回東北総合スポーツ大会（国民スポーツ大会の東北ブロック予選会）が福島県で開催されます。

今大会では、全37競技が県内各地で開催され、川俣町でも町体育館を会場に8月21日から23日にかけてフェンシング競技が実施されます。つまり、この3日間、各県の代表選手がしのぎを削る国内トップレベルの競技

会を間近で見れる絶好の機会になります。そこで、今月の特集では「闘うチエス」と呼ばれるフェンシングの装備やルール、3種目ある競技の特徴など意外と知らないその魅力をご紹介します。

令和8年 川俣町フェンシングの成果

1/27 選抜大会北海道・東北ブロック予選会	男子サーブル団体	優勝
3/24- 全国選抜フェンシング大会	男子サーブル団体	ベスト8
	少年女子フルーレ	第1位
5/16- 第44回福島県フェンシング選手権	一般男子エペ	第3位
	一般女子サーブル	第1位
	一般男子サーブル	第1位
	男子フルーレ	優勝
	女子フルーレ	優勝
5/30- 第72回福島県高等学校体育大会	男子サーブル	第2位
	女子サーブル	第1位
	女子フルーレ	第2位
6/19- 第64回東北高等学校フェンシング選手権大会	男子サーブル	第2位
	女子サーブル	優勝
	男子団体	第3位



川俣高校フェンシング部
下平 美雪さん

東北大会では、目標としていた優勝を達成することができて良かったです。試合で見つけた課題を克服し、さらに上のレベルの試合でも勝てるように頑張りたいです。

マスク

メタルジャケット

ユニホーム

靴

ハイソックス

徹底解説

試合を見に行く前に覚えておきたい、フェンシングを見るのが数倍面白くなるフェンシングの種類や装備、ルールなどを川俣高校フェンシング部のみなさんが分かりやすく解説してくれました。

種目	フルーレ	サーブル	エペ
有効面			
攻撃	突き	突き・斬り	突き
優先権	あり	あり	なし
剣の長さ	110 cm以下	105 cm以下	110 cm以下
剣の重さ	500g 以下	500g 以下	770g 以下
ルール	3分×3セット 15ポイント先取	片方が8点取ると 1分間休憩 15点先取	3分×3セット 15ポイント先取
見所	鍔が小さいため繊細な剣さばきの技術が必要で、攻撃と守備の駆け引きが醍醐味です  田代 凌雅さん	他の種目に比べて試合展開が早く、スピーディーでダイナミックな動きが見えます  高橋 騎士さん	攻撃権がなく、全身を突くことができるので相手の隙を突く一瞬のスピードと心理戦が魅力です  大河内 要さん

CHECK！ 川俣町のフェンシング NEWS



女子フェンシング部復活

この春、新たに女子部員が3名加わり6年ぶりに女子フェンシング部として団体戦に出場が可能になりました。

日本代表として出場

世界選手権に日本代表として川俣町在住の佐藤柊吾さんが出場。世界の大舞台で活躍しました。



豪華指導陣による練習

ナショナルチーム級のコーチや現役の日本代表選手などと練習会を開催し、ハイレベルな環境で技術を磨いています。